

○質問者 それでは、今日も前回に引き続いてお尋ねしますが、前は駆け足で3月15日のところまでやっていったので、まず15日以降のを確認していきます。

前は15日に2号機、4号機で異変が起こって、16日には火災があったとされていて、いずれも自然鎮火ということになっているんですね。

○回答者 はい。

○質問者 16日、17日ごろのことなんです、このころ、燃料プールへの対応がなされていると思います。

政府の方の原子力災害対策本部で時系列を公表しているんですけども、それを見ると、放水を自衛隊、警視庁辺りがずっとやられるようになっていて、要するに警視庁とか自衛隊などが放水をするということで、しかも、それが3号機に対してと3月17日にはなっているみたいなんです。

まず3月16日とかそのころの作業の優先順位というものについて、どういうふうにお考えだったかということなんです。東電側の方でテレビ会議などを聞き取った柏崎刈羽などを見ていると、これは必ずしもすべてが正確というわけではどうもならないんです。

それを前提としてお聞きするんですけども、3月16日の10時04分に本店優先順位の確認と書いてあって、1番目が1F4号機のSFP、燃料プールへの注水、2番目に外部電源の復旧、3番目に電源車を入れるための養生、4番目に1Fの1号機、3号機の燃料プールへの注水と優先順位が書き取られてるんですけども、これは御記憶と比べてどうですか。

○回答者 それでおおむね間違っていないと思います。

○質問者 そうすると、外部電源の復旧というのが2番目の優先順位としてあって、3番目に電源車を入れるためというところがあって、この辺りのところは1～3号機になるんですか。電源車というのはどういうことなんですか。

○回答者 1、2、3については、例の消防車での注水がその間も続いている状態です。ただ、早く外部電源を復旧して生かせる機器を生かしたいということで、2番目の外部電源の復旧工事にとりかかる。それはうちではできませんので、本店にやってもらうということでお願いをしておいた。それと同時に、外部電源が復旧できれば、それにぶら下がるポンプなどを使えるようにしましょう。ですから、そこを両面で本店でやっていたというのがずっと続いているんです。

私などはなかなか無理だと思っていたんですけども、既存のRHRだとか、そういう既存の本設設備を回して何とかできないか、まだそのときはそういう考えだったんです。ですから、外部電源を復旧する。場合によって外部電源で届かないところについては、3番目にあるように電源車をもってきて、電気を供給して、何とか復旧できる機器は復旧したいというのが大きい軸だったんです。ですから、外部電源というよりも、電源関係の復旧が1つの軸だった。